## 【樹木の部屋】

## チリマツ(ナンヨウスギ科ナンヨウスギ属 Araucaria araucana)

和名: チリマツ、ヨロイスギ 別名: アラウアカリア、チリーパイン

英名: Monkey Puzzle Tree

マツ目 常緑針葉樹・高木 原産地:チリ中南部

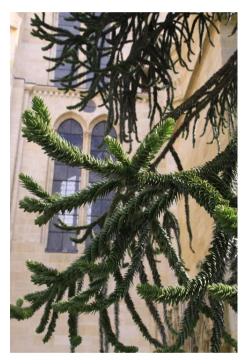
花言葉: 花の色:

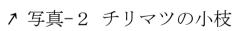


← 写真-1 チリマツの樹姿 撮影日:2015年07月08日

撮影場所:ロカルノ(スイス)にて

撮影者:M さん



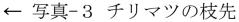


撮影日:2016年05月29日

撮影場所:サンタンドレ大聖堂

~ボルドー(フランス)にて

撮影者:M さん



撮影日:2016年05月29日

撮影場所:サンタンドレ大聖堂

~ボルドー(フランス)にて

撮影者:M さん



最初に見かけたのは、スイスのロカルノのホテルベランダから。遠目に、チョット変わった雰囲気のある植物が目に入りました。そのときは樹名不詳でした。翌年、フランス南部のボルドーを訪れた際、サンタンドレ大聖堂の前で再会。帰国後、調べてみると、チリマツでした。

英名、Monkey Puzzle Tree(モンキーパズルツリー)の由来ですが、枝や葉がギザギザしていてサルが登れないとの事から・・。そこで和訳すると「サルが困る木」となります。

生長がとても速いのが特徴で、ニュージランドに移植されたものをニュージランド松と呼ばれています。1000年以上を生き続けるそうです。

枝の先に丸い球果をつけ、種子は、栄養に富み、料理するとおいしく、チリのペウエンチエ族はこの種子を主食としている他、収穫祭や豊作祭の行事に重要な木だそうです。

材は比較的強度もあり適度に耐久性もあるそうですが、接着すると保存性に 欠けるそうです。木材業界で言うチリマツ(チリ松、チリーマツ)は別種のもの で、米国のラジアータパインをチリに植林したものだそうです。